

CSWに  
聞いてみました

## 相談者も地域住民も 一人にさせないために

CSWには、個別の相談業務など、スポーツで言えば選手としての役割と、地域住民の主体性を大事にしながら地域の居場所づくりなどをサポートするマネージャーのような役割があります。どちらも、相手と同じ目線で考え、共に解決策を探ります。しんどい業務だからこそ、役に立てたときの喜びは大きく、とてもやりがいを感じています。

複雑化する社会の中で、一つの支援策だけでは解決できない問題もありますが、CSWと複数の機関が連携・協力して、サポート体制をつくり、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めています。

今後も「相談者や地域住民を一人にさせない」を合言葉に、CSW全員で取り組んでいきます。



CSW佐本さん

## 近所同士みんなで支え合い 地区福祉委員会

おおむね小学校区に1つ組織されている地域福祉活動に取り組むボランティア団体。自治会、高齢クラブなど地域のさまざまな団体や、民生・児童委員などで構成しています。ひとり暮らし高齢者を対象とした交流の場「ふれあい昼食会」や、子育て世帯を対象とした情報交換や仲間づくりの場「子育てサロン」などの開催も（現在はコロナの影響で活動を一部自粛）。



▼昨年度のいきいきサロン



▲コロナ禍でも見守り声かけ活動を実施

## あなたの力が大きな支援に ボランティアに参加しませんか

吹田市社会福祉協議会では、あなたのやってみたい気持ちを大切に、ライフスタイルに合った活動を紹介しています。気軽に問い合わせてください。また、ボランティア入門講座や特技ボランティア養成講座の開催、ボランティア情報の発信なども実施しています（現在はコロナの影響で活動を一部自粛）。☎同協議会（TEL6339・1210FAX6170・5800）。

ふだんのくらしの中で  
しあわせを



## コロナ禍でも歩みを止めず

吹田市社会福祉協議会では、安否確認を目的とした地域のひとり暮らしの高齢者への電話訪問や、コロナ禍で生活に不安を抱える学生に食品を配付するなど、多様な団体とともにさまざまな活動に取り組んできました。

今後も、誰もがふだんの暮らしの中で幸せを感じられる福祉のまちづくりを進めます。

## 吹田市社会福祉協議会



吹田市社会福祉協議会では、地域住民の生活を守り、住民同士のつながりづくりなどを支援する活動を行っています。コロナ禍で、これまで以上に人の温かさやつながりが必要とされる今、コミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW）は、地区福祉委員会やボランティアとともに地域に根ざしたサポートを続けています。☎同協議会（TEL6339・1205FAX6170・5800）。

## ふだんのくらしを支える

# 縁の下の力持ち CSW

CSWを  
知っていますか

CSWは、吹田市社会福祉協議会が市からの委託を受け配置した「生活・福祉の相談員」です。「困りごとを相談したい」「地域のためにこんなことがしたい」などの地域住民の声に応じます。現在は市内に13人配置しています。

## CSWの仕事ピックアップ

### 困りごとを聞きつなぐ

「近所の高齢者の足腰が弱っている」「仕事がなくなり、この先の生活が不安」など、いろいろな相談が寄せられます。住民の困りごとを聞き、解決方法を一緒に考えたり、支援機関につないだりして解決を図ります。相談者に寄り添いながら、さまざまな分野の行政機関や福祉専門機関、ボランティアなどと連携し、対応できることがCSWの最大の強みです。



### 地域をサポート

地区福祉委員会をはじめとする地域団体の取り組みでは、地域の課題が浮き彫りになるとともに、課題解決のヒントになる意見が出ることがあります。CSWは、地域の取り組みなどに参加して、地域の実状を情報収集するとともに、提案された意見を実現化するためのアドバイスをするなどして、地域の課題解決の手伝い・コーディネートをしています。



地域の福祉活動をサポート

### 子供たちへ福祉を伝える

小中学校の依頼に応じて、小中学生を対象に「福祉体験授業」を実施しています。車いす体験や点字体験、障がいのある人の話を聞くことなどを通して、他人への思いやりや、支え合いの心を育みます。昨年度は、延べ1万人を超える小中学生が参加。同授業は、さまざまなボランティアが参加しているため、住民同士の世代間交流の場にもなっています。

